



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月5日

上場会社名 株式会社ケアサービス 上場取引所 東
 コード番号 2425 URL https://www.care.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福原 俊晴
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理財務部長 (氏名) 太田 健太郎 (TEL) 03-5753-1170
 四半期報告書提出予定日 2019年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	2,255	4.2	4	—	8	—	1	—
2019年3月期第1四半期	2,165	2.7	△5	—	△5	—	△26	—

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △0百万円(—%) 2019年3月期第1四半期 △29百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	0.43	—
2019年3月期第1四半期	△7.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	3,080	1,454	47.2
2019年3月期	3,108	1,480	47.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 1,454百万円 2019年3月期 1,480百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	6.75	6.75
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	0.00	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,143	2.7	270	19.7	274	18.7	157	66.1	41.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年3月期1Q	4,200,000株	2019年3月期	4,200,000株
2020年3月期1Q	406,600株	2019年3月期	406,600株
2020年3月期1Q	3,793,400株	2019年3月期1Q	3,793,400株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産の弱さが続いているものの、インバウンド需要の回復が見られ、また雇用・所得環境の改善が続くなかで、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、貿易摩擦の激化や地政学リスクの不確実性が増し、世界経済に与える影響、景気の先行きに一層留意していく必要があります。

国内の介護業界におきましては、高齢社会の進行に伴い介護サービスの需要は高まっているものの、サービスを担う人材を、適時適切に確保することは、非常に難しく、引き続き介護事業者の大きな課題となっております。また2018年4月に施行された介護報酬と診療報酬の同時改定によって、全体的にサービス単価が引き下げられたことにより、介護業界を取り巻く環境は依然厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当期は、中長期的な成長に向けた筋肉質な収益基盤の土台作りとする最終準備期間と位置づけ、国内外に向けて当社グループの「介護からエンゼルケアまで」一貫したサービスを提供するための基盤構築を引き続き図ってまいります。

国内の既存事業では、事業所の新規開設による東京23区を中心とした在宅介護のドミナント戦略を推進し、また各サービスの品質向上に不可欠かつ基礎となる人材への投資また育成を積極的に図りました。

それにより、当第1四半期連結累計期間までの国内の既存事業所数は、エンゼルケアサービスで1事業所の新規出店を行い（退店は各サービスとも0）、合計105事業所となりました。

海外事業においては、「上海福原護理服務有限公司」によって介護サービスとエンゼルケアサービスを提供しております。経済成長と高齢化が進む中国において、今後は在宅介護およびエンゼルケアサービスに対する需要は確実に存在し、市場は拡大するものと認識しております。

その他の事業では2018年4月より当社グループの人材事業子会社である「株式会社ケアサービスヒューマンキャピタル」において開始した介護業界を対象とする人材紹介サービスは当第1四半期連結累計期間では売上が順調に拡大し、単月黒字化を遂げました。

また多様な介護サービスおよび介護施設を必要とされるお客様へは、これまで培った介護ノウハウを活かし「住まいの架け橋」としてサービスの構築を進め、ご要望に叶う介護サービスおよび介護施設の紹介サービスを今後提供してまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,255百万円（前年同四半期比4.2%増）、営業利益は4百万円（前年同四半期は5百万円の営業損失）、経常利益は8百万円（前年同四半期は5百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1百万円（前年同四半期は26百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

なお、当社は、当第1四半期連結会計期間後の2019年7月22日付で、以下のとおり株式会社ひだまりの株式を取得し、完全子会社化いたしました。

1. 株式取得の目的

当社の在宅介護事業は、東京23区を中心としたドミナント戦略を展開し、成長してまいりました。

今般、東京都江東区にて、居宅介護支援事業および訪問介護事業を展開する株式会社ひだまりを子会社化することにより、近隣の当社デイサービスとの相互活性化を図り、さらに江東区とその隣接地域における深耕拡大の足掛かりとして当社の在宅介護事業の強化に繋がるものと判断いたしました。

2. 株式会社ひだまりの事業内容、規模

(1) 事業内容	居宅介護支援・訪問介護事業	
(2) 規模	資本金	1百万円
	純資産	7百万円
	総資産	46百万円
	売上高	139百万円

(注)上記数値は株式会社ひだまりの2019年2月期の決算数値に基づいております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より27百万円減少し、3,080百万円となりました。

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、2,206百万円(前連結会計年度末2,206百万円)となり、0百万円減少しました。売掛金の増加26百万円、現金及び預金の減少21百万円が主な要因であります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、874百万円(前連結会計年度末901百万円)となり、27百万円減少しました。建物(純額)の減少9百万円、無形固定資産の減少11百万円、投資その他の資産その他の減少6百万円が主な要因であります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、1,192百万円(前連結会計年度末1,148百万円)となり、44百万円増加しました。未払費用の増加233百万円、未払法人税等の減少76百万円、賞与引当金の減少97百万円が主な要因であります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、433百万円(前連結会計年度末479百万円)となり、45百万円減少しました。長期借入金の減少44百万円が主な要因であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、1,454百万円(前連結会計年度末1,480百万円)となり、25百万円減少しました。配当金25百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益1百万円が主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月15日に公表いたしました、2020年3月期の通期の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	768,905	747,187
売掛金	1,337,842	1,364,463
その他	100,008	95,115
貸倒引当金	△207	△447
流動資産合計	2,206,547	2,206,319
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	217,599	208,240
その他（純額）	31,128	32,564
有形固定資産合計	248,727	240,805
無形固定資産	185,400	174,103
投資その他の資産		
敷金及び保証金	278,589	276,727
その他	191,233	185,111
貸倒引当金	△2,279	△2,462
投資その他の資産合計	467,544	459,376
固定資産合計	901,672	874,285
資産合計	3,108,220	3,080,604

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	146,878	166,008
1年内返済予定の長期借入金	182,480	177,480
未払費用	277,132	510,652
未払法人税等	98,316	21,396
賞与引当金	130,711	33,421
事業所閉鎖損失引当金	5,184	—
その他	307,948	283,934
流動負債合計	1,148,650	1,192,893
固定負債		
長期借入金	232,970	188,600
退職給付に係る負債	122,703	128,933
その他	123,827	116,006
固定負債合計	479,500	433,539
負債合計	1,628,151	1,626,432
純資産の部		
株主資本		
資本金	205,125	205,125
資本剰余金	138,075	138,075
利益剰余金	1,292,439	1,268,464
自己株式	△148,107	△148,107
株主資本合計	1,487,531	1,463,556
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△7,462	△9,385
その他の包括利益累計額合計	△7,462	△9,385
純資産合計	1,480,068	1,454,171
負債純資産合計	3,108,220	3,080,604

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	2,165,546	2,255,906
売上原価	1,924,580	2,009,030
売上総利益	240,965	246,875
販売費及び一般管理費	246,019	242,037
営業利益又は営業損失(△)	△5,053	4,838
営業外収益		
助成金収入	235	2,263
その他	1,884	2,620
営業外収益合計	2,119	4,883
営業外費用		
支払利息	457	342
為替差損	1,598	790
その他	389	40
営業外費用合計	2,445	1,172
経常利益又は経常損失(△)	△5,379	8,549
特別損失		
債権放棄損	16,532	—
特別損失合計	16,532	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△21,912	8,549
法人税、住民税及び事業税	2,237	3,652
法人税等調整額	6,773	3,266
法人税等合計	9,010	6,918
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△30,922	1,630
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,275	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△26,646	1,630

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△30,922	1,630
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	956	△1,922
その他の包括利益合計	956	△1,922
四半期包括利益	△29,965	△291
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△25,924	△291
非支配株主に係る四半期包括利益	△4,040	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。